

事業番号	15 07 05	事業改善シート(28年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	県立長野図書館事業費				担当課	部局	教育委員会事務局	
総合5か年計画	プロジェクト	8-6-2 教育再生プロジェクト			課・局・室	文化財・生涯学習課		
	施策の総合的展開	7-3 生涯を通じた学びと文化・スポーツに親しむ環境づくり 1 学びの成果が生きる生涯学習の振興			E-mail	bunsho@pref.nagano.lg.jp		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	4-2 信州創生を担う人材の確保・育成			実施期間	S25 ~		
	施策展開	4-(2) 信州に根付くつながりの継承 (ウ) 文化・芸術・スポーツ活動による地域活性化						

### 1 事業の概要

目指す姿	<p>情報・知識基盤社会において、県立長野図書館は「情報の改革」「人の変革」「場の革新」に取り組み、次の4つの視点から、県内の公共・学校図書館と共に多様な県民の知的創造の基盤たる役割を果たす。</p> <p>①「図書館の蓄積・貸出・レファレンス」から県民の「学び」「情報の活用」「課題解決(糸口提供)」の支援への転換 ②公立図書館等への支援強化・ネットワーク構築(人材育成・運営アドバイスを強化) ③県立の図書館としての基本機能の回復(全国水準を踏まえた、郷土資料・専門資料等図書購入費の増額) ④業務の分業化・高度化による組織の体質強化(業務改善により改革財源を自ら捻出)</p>		
現状(予算編成時)	<p>・H24文科省告示「公共図書館の設置及び運営上の望ましい基準」により、電子情報を含む情報提供や地域人材の交流の場としての図書館への転換が要請されているが、地域の情報拠点(情報センター)への転換を志向している公立図書館は極めて少なく、県立図書館においても取組みが進んでいない。</p> <p>・H21からH26の間で図書資料購入費は△33.2%であり、県立の図書館として必要な専門図書の購入が滞り、県民からのレファレンス要望に対し十分な情報を提供できていない。</p>		
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 社会教育法、図書館法、県立長野図書館条例	
	県民との協働による実施: 検討中		

成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)					
	<p>○公立図書館等への支援強化・ネットワーク構築(人材育成・運営アドバイスの強化) ⇒これからの図書館の方向性(情報基盤・学びの変革等)を共に議論・リードするためのフォーラム等を県内各地で開催</p> <p>○課題解決支援サービスの充実 ⇒(一社)長野県経営支援機構と連携し、起業・創業などビジネスに関する相談会を開催</p> <p>○信州地域情報の充実・活用促進 ⇒郷土資料等重点テーマに関する図書資料の拡充と電子情報活用の促進</p>					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H28実施内容	H28(当初)	H28(決算)	H29(当初)
	図書館管理運営費	直接	・行政嘱託員14人報酬及び保険料等 ・維持管理経費等(燃料費・保守管理費等)	62,062	60,475	139,504
	図書館コンピュータ管理維持費	直接	・コンピュータシステム管理・運営経費	28,604	27,432	28,604
	図書館事業費	直接	・貸出等の図書サービス、図書購入費等 ・市町村との連携・支援、相互貸借郵送料等	30,631	29,705	31,776
	図書館改革事業費	直接	・信州「知の入口」ポータル(仮称)※の検討 ※信州の様々な情報資産(デジタルアーカイブ)をつなぎ、一元検索・相互活用を可能とするシステム ・郷土資料・新聞雑誌等商用データベースの拡充 ・図書館フォーラム等の実施 ・先進的モデル空間の創出(ハイブリット図書館) Wi-Fi、データ検索利用・タブレットPC導入等	6,627	6,228	11,853
	合計			127,924	123,840	211,737

事業コスト	区分(単位:千円)				成果目標の達成状況										
	予算額	前年度繰越			項目	H26末	H27末	H28			H29目標				
		当初予算	124,852	127,924				目標	成果	達成状況					
		補正予算						県内図書館サポート件数	308件	335件		450件	661件	達成	550件
		合計(A)	124,852	127,924								211,737			
	Aの財源	一般財源	110,950	124,947	159,965	一般向け情報提供サービス件数	9,178件	8384件	10,600件	10,058件	未達成	10,600件			
		県債			49,000										
		国庫支出金	750												
		その他	13,152	2,977	2,772										
	決算額(B)	120,431	123,840												
概算人件費	職員数(人)	23.00	21.00	21.00											
概算事業費(B(A)+C)	概算人件費(C)	190,348	166,194	166,194											
		310,779	290,034	377,931											

目標に対する成果の状況	<p>・県内の公共図書館に向けたサポートについては、司書向けの研修会を企画実施しキャリアの底上げを図るとともに、各地域の司書とつながりを深くすることで課題の発見やその解決に向けたサポートに結びつけることができた。</p> <p>・一般向けの情報提供サービスについては、インターネットサービスの普及等により調査相談件数が減少傾向にあることから目標値に届かなかったが、一般県民向け各種フォーラムへの参加者はほぼ横ばい、情報発信を幅広く実施するため導入した機器やデータベース等の利活用は順調に増加している。今後も情報リテラシー向上に取り組み、利用プログラムの構築を進めながらさらに活用を進めていく。</p>
-------------	--

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 改革を更に推進し、県立図書館の専門性・広域性を高めるとともに、知識基盤社会における「共知・共創」の場としての新しい「公共」図書館の姿を実現する。そのため次年度は、①信州に関する情報資産を共有・相互活用するための基盤構築の検討 ②市町村や民間団体等と連携したフォーラムによる人材育成 ③課題解決型ワークショップを通じ、県民自らの学び合いの中から新たな価値を創造する“co-learning”モデルの提案の3つに重点的に取り組む。
--------------------	--